

JM7 台利用りんご樹の衰弱症状における樹勢回復法

【1 樹勢回復法】

JM7 利用りんご樹の衰弱症状を確認した場合は速やかに、接目コブの上部まで盛土を行います。

盛土3年後
根は大きく生育します。



盛土により樹勢が維持されます。

樹勢維持により収量、果実重も維持できます。



盛り土をしない樹では衰弱症状が現れます。



(1)留意事項



穂品種部分まで盛土を
すると自根が発生する
恐れがあります

発根した根が乾燥
しないように十分
量の土を盛ります



接ぎ目コブは台木部で
みられます。